

令和 4 年 2 月 15 日

令和 3 年度 事業報告及び反省点【自然科学部】

1 事業報告

※R3 年度においては、実施できなかった事業や中止となった事業については、事業内容の後ろに（中止）と記入してください。新たに実施した事業については事業内容のみ記入してください。

| 日付 | 事業内容 | 会場 |
|------|---------------------------|---------------|
| 4.27 | 第 1 回役員会(Meet) | |
| 6.1 | 総会（書面、Google フォーム決裁） | |
| | 生徒顧問研修会（中止） | |
| | 夏季研究大会および合同観測会（中止） | |
| 7.12 | 第 2 回役員会(Meet) | |
| 7.19 | 第 1 回顧問会議(書面、Google フォーム) | |
| 11.6 | 研究発表会（審査のみ） | 日立第一高等学校 |
| 12.4 | 冬季研究大会(Zoom) | 日立第一高等学校、他参加校 |
| 2.2 | 第 3 回役員会(Meet) | |
| 2.15 | 顧問会議（Meet） | |
| 3. | 会計監査 | 並木中等 OR 日立第一 |

※行数が不足する場合は、追加してください。

2 反省等

- ・昨年度の反省を踏まえて、Chatwork(チャットアプリ)による役員同士の情報共有、Meet による役員会や臨時の打合せなどを行うことができ、書面ではあるが例年通りの時期に総会や顧問会議を開催することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況を読むことが難しく、前半の事業である生徒顧問研修会や夏季研究大会は中止になってしまった。
- ・昨年度の反省を踏まえて、研究発表会はリアル実施とオンライン実施、どちらで行っても良いように事前準備を行い、例年と同時期にオンライン実施で開催することができた。
- ・冬季研究大会は、合宿形式は難しいと早期に判断し、オンライン形式で開催することができた。
- ・生徒たちが集まる活動が、なかなかできない状況なので、生徒実行委員の活動が 2 年間滞っている。来年度は、現状が続いても何か活動できるよう、対策を立てたい。
- ・県高文連賞の選出基準が、各事業を何も制限を設けない状態でリアル実施した場合の基準となっている。来年度、現状が続いた場合の選出基準を来年度の総会で決定したい。